

令和6・7年度 荒尾市教育委員会指定  
令和7年度 熊本県教育委員会「くまもとGIGAスクールプロジェクト」指定

# 荒尾市立八幡小学校 研究発表会

【研究主題】

日々の授業及びプロジェクトの質的改善  
～「身に付けさせたい資質・能力」の育成を図る教師の在り方を見つめて～

1 期 日 令和8年2月6日(金)

2 会 場 荒尾市立八幡小学校

3 日 程

12:30 13:00 13:30 13:40 14:25 14:40 15:10 15:20 15:40 15:50 16:40

受付	開会 オリエンテーション	移動	公開授業	移動・休憩	座談会	移動・休憩	PJ会議	休憩	全体会 閉会
----	-----------------	----	------	-------	-----	-------	------	----	-----------

4 オリエンテーション(13:00～13:30)

進行 教務主任 平島 勇太  
教 頭 井上 博士  
研究主任 渡邊 亮太

- (1) 開会
- (2) 研究概要及び参観の視点
- (3) 諸連絡

5 公開授業・座談会(13:40～15:10)

My mission (質的改善を図るべき授業の課題)	学年	授業者	教科	単元・教材名
次時の学習の意欲につながる振り返りをどう取り入れるか	さくら (知的障がい)	道喜 亜香里	自立活動	さくらちゃんのお誕生日パーティーをひらこう
自分の考えを広めたり、深めたりする活動の充実	1年1組	吉田 有伶	音楽	みんなで あわせて たのしもう
全員が足並みを揃えて自力解決に入るために見通しをどう工夫できるか	3年1組	坂本 恭兵	国語	つたわる言葉で表そう
対話的な話し合いをどうつくりだすか	たんぼぼ (自閉症・情緒障がい)	村上 正順	学級活動	新入生をむかえる会を計画しよう
全員が参加するグループ活動	4年1組	徳永 朝美	特別の教科 道徳	新次のしょうぎ (内容項目 A 正直、誠実)
子どもたちの問いをどう生み出すか	5年1組	中村 界斗	社会	森林とともに生きる
全員が自分なりの見通しをもつためには	6年2組	守屋 数人	算数	データの調べ方

6 PJ会議(15:20～15:40)

My project (質的改善を図るべき校務分掌上の課題)	校務分掌	発表者
①みんなのためになる教務主任としての仕事の在り方 ②6年生児童を中心に取り組む特別活動の活性化	教務主任 第6学年主任	平島 勇太
健康な生活を送る基礎を培うこと 意識化・行動化	養護教諭	上野 緩実
実りある校内研修の推進	研究主任	渡邊 亮太

7 全体会(15:50～16:40)

進行 教務主任 平島 勇太  
教 頭 井上 博士  
校長 淵上 竜一  
教 頭 井上 博士  
指導主事 田上 俊郎  
教育長 浦部 眞  
教 頭 井上 博士

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 来賓及び関係者紹介
- (4) 助言
- (5) 謝辞
- (6) 閉会

8 その他

右側の QR コードよりアンケートへのご協力をお願いいたします。



※ 裏面も併せてご覧ください。

【 3 階 】

教材室	テラス			WC			ホール吹抜1		ホール吹抜2		【 3 階 】		
	ワークスペース			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	倉庫	屋内階段						
階段	6-1 PJ会議会場 (平島校舎)	6-2 授業会場	5-1・6-2 座談会前 参加者控室 (多目的)	5-1 授業会場	多目的 ホール3		準備室	家庭室	準備室	図工室	準備室	音楽室	階段
	テラス				テラス								

【 2 階 】

【 2 階 】											
教 材 室	テラス			WC	倉庫	ホール吹抜Ⅰ 屋内階段	多目的ホール2	屋上広場			
	ワークスペース										
階 段	多目的	4ー1 授業会場	たんぼぼ 授業会場	3ー1 授業会場	3ー1・たんぼぼ・4ー1 座談会前 参加者控室 (図書室)	昇降口 吹抜	中央倉庫	準 備 室	理 科 室	パソコン室	階 段
		テラス					テラス				

【 1 階 】

体育館 受付 全体会会場 PJ会議会場 (渡邊教諭)																				【 1 階 】											
屋外 WC		テラス				WC		給食 準備室		多目的ホールI				印刷室		事務室		職員玄関		来賓控室 (大会議室)		小会議室		職員 WC		更衣室		相談室			
屋外 WC		ワークスペース ◆								屋内階段								◆													
階段		倉庫		さくら・1-1 座談会前 参加者控室 (多目的)		2-1 PJ会議会場 (上野義隆教諭)		1-1 授業会場		さくら 授業会場		なでしこ				昇降口		職員室				来賓控室 (校長室)		保健室		放送室		体育倉庫		倉庫 階段	
2・3階へは、 こちらの階段も ご利用いただけます。		テラス																													

2・3階へは、  
こちらの階段も  
ご利用いただけます。

## 10 本日の研究発表会について（お願いと共有したいこと）

本校では、本日の研究発表会を「参観していただく場」としてではなく、来校された先生方にも本校職員として日常の校内研究の輪に加わっていただくつもりでおります。どうか気負わず、ともに学びを深めていきたいと考えております。

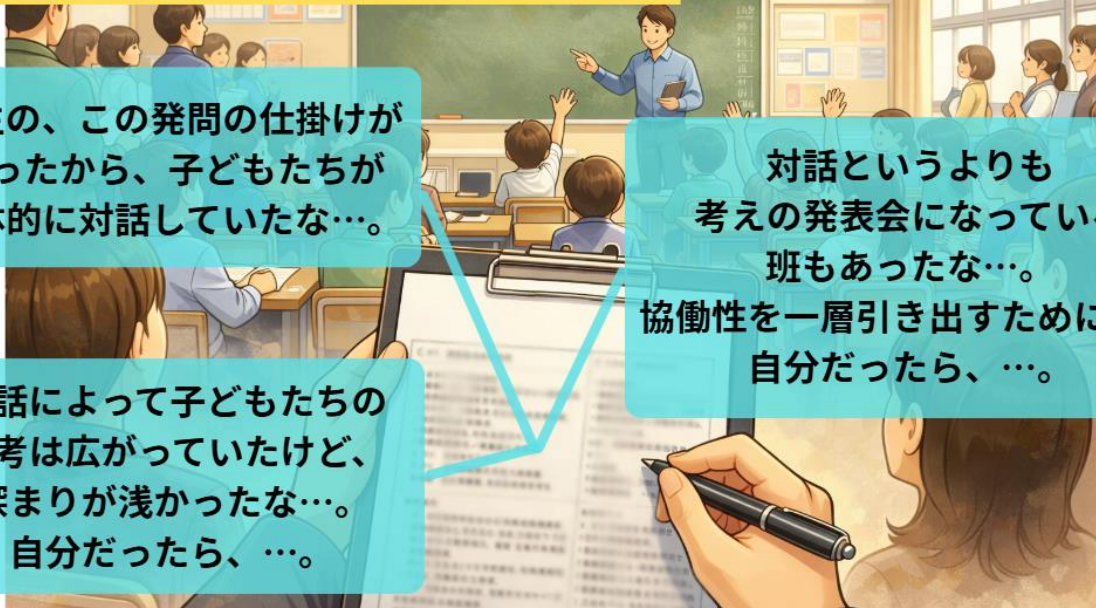
### （1）公開授業に際して

本公開授業では、学習構想案の項目4「身に付けさせたい資質・能力の育成を図るために」に示された、《My missionにかかる手立てと期待される児童の姿》に着目してご参観ください。その手立てがどの場で機能していたか、また期待される児童の姿にどこまでつながっていたかを見取っていただくとともに、改善の可能性についてもご自身の実践に参照してお考えいただければ幸いです。

本公開授業は、入念に準備をされたいわゆる「研究授業」ではなく、日々の授業改善の過程にある実践です。授業者と参観者が共に省察を重ね、次の実践につなげていくための時間となることを願っております。

（例）My mission：学びが広がる・深まる対話活動の追究

※公開授業を参観する際の視点の一例です。



先生の、この発問の仕掛けがあったから、子どもたちが主体的に対話していたな…。

対話によって子どもたちの思考は広がっていたけど、深まりが浅かったな…。自分だったら、…。

対話というよりも  
考えの発表会になっている  
班もあったな…。  
協働性を一層引き出すためには、  
自分だったら、…。

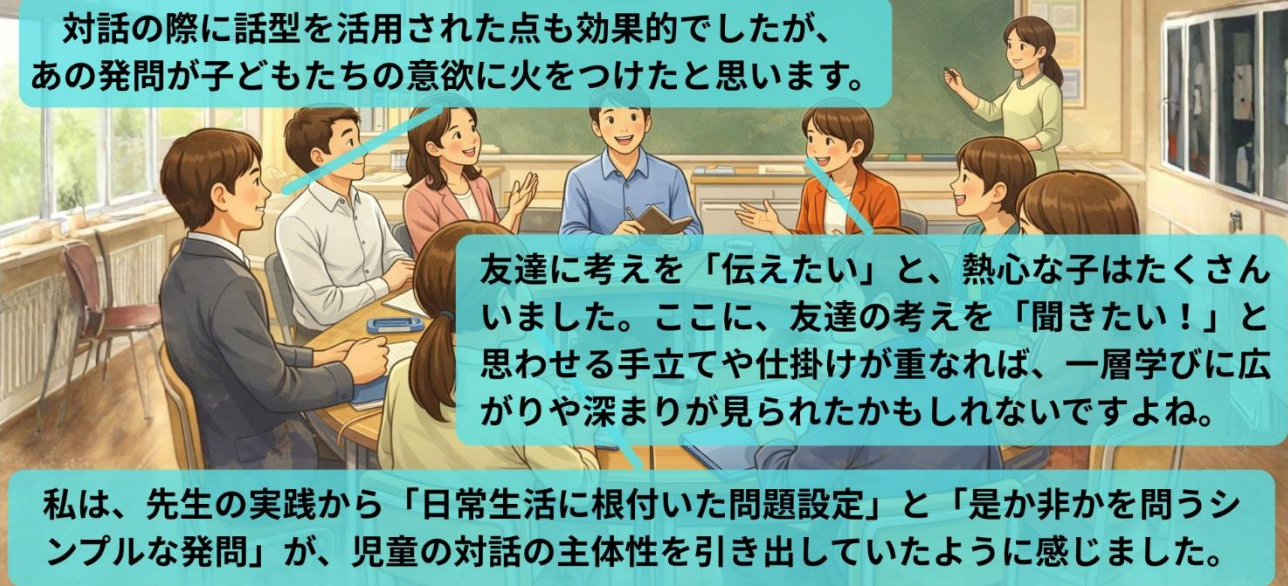
### （2）座談会に際して

本校で考える座談会は、協議の内容を、授業者が設定した《My mission》に関する取組に限定して行います。授業者の実践を評価・批評することや、一方的な助言を行うことを目的とするのではなく、授業者と参加者が対話を通して共に学び合う協議の場として位置付けています。

前半では、授業について、良かった点や疑問点、改善の可能性を中心に対話を行います。

（例）My mission：学びが広がる・深まる対話活動の追究

※座談会での協議の視点の一例です。



対話の際に話型を活用された点も効果的でしたが、あの発問が子どもたちの意欲に火をつけたと思います。

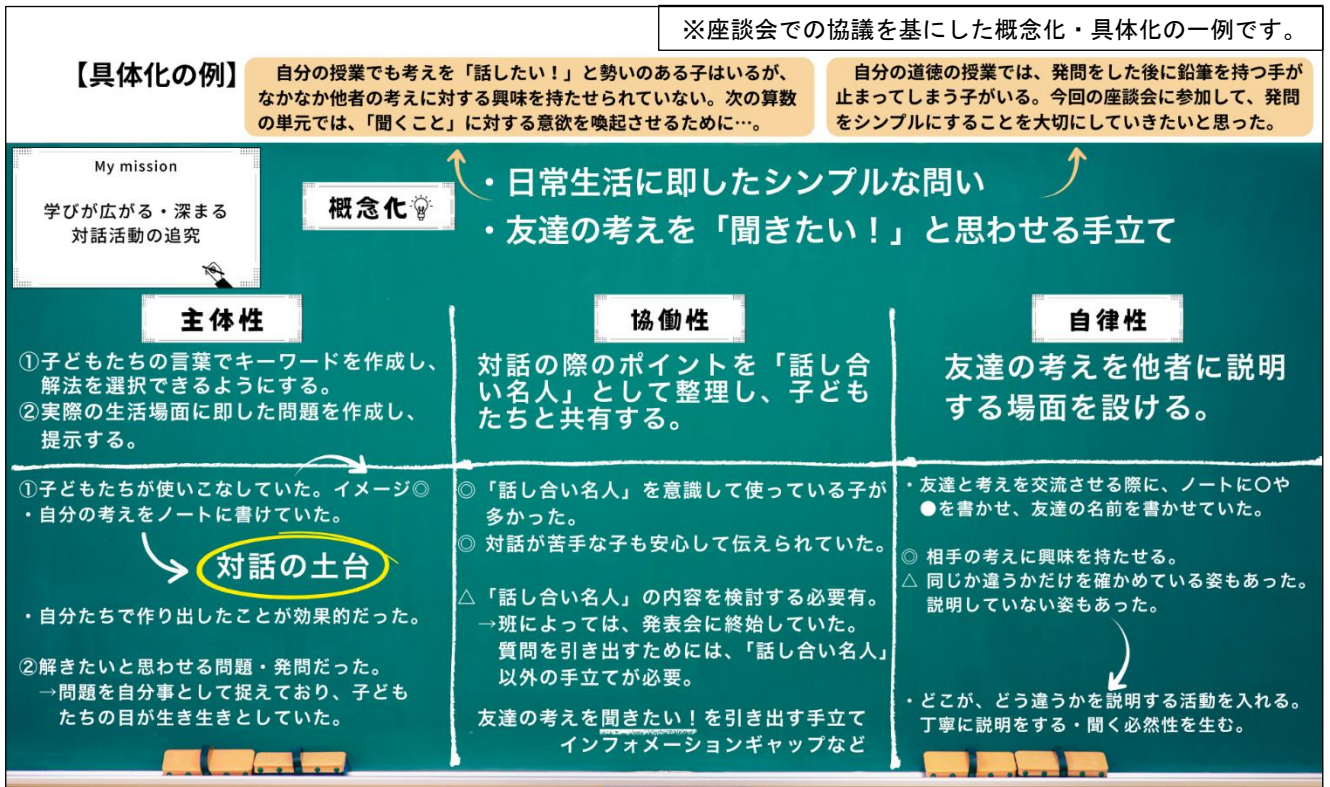
友達に考えを「伝えたい」と、熱心な子はたくさんいました。ここに、友達の考えを「聞きたい！」と思わせる手立てや仕掛けが重なれば、一層学びに広がりや深まりが見られたかもしれないですね。

私は、先生の実践から「日常生活に根付いた問題設定」と「是か非かを問うシンプルな発問」が、児童の対話の主体性を引き出していたように感じました。



後半では、その対話をもとに【概念化】と【具体化】を行い、自身の授業への応用につなげていきます。概念化とは、対話を通して授業のポイントを抽象化し、言葉で整理することです。また、具体化とは、整理した概念を自分の授業に照らし合わせ、自分はできているか、どのように生かせるかを考えることです。

このように、公開された授業（具体）⇒概念化（抽象）⇒自分の授業実践（具体）と、二つを往復することで、自分の授業に置き換えて考えやすくなり、実践の汎用性も高くなります。



### (3) PJ会議に際して

本日のPJ会議では、実践紹介にとどまらず、参加される先生方それぞれの学校における状況や課題を共有し合いながら、共に改善策を考え、実践を磨いていく時間にしたと考えています。

限られた時間ではありますが、明日からの実践につながる小さなヒントを、お互いに持ち帰ることができる場になれば幸いです。

(例) My project : 6年生児童を中心に取り組む特別活動の活性化

※PJ会議での協議の視点の一例です。

私の学校でも、縦割り班での活動を取り入れています。

私の学校でも6年生が主体的に学校づくりに関わるように、…。



縦割り班を取り入れてはいるんだけど、思うように機能していない場面もあって、…。

先生の発表を聞いて、行事の準備でも同じようにできそうだなと思いました。私の学校では、…。

本日は、先生方と共に学びを広げ、深める時間をご一緒できることを楽しみにお待ちしております。教師の学びも児童の学びと相似形です。どうぞ本日は、主体的に、対話的に、そして深く学び合う時間を共に創っていただければ幸いです。